

活動団体名	みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会
所在地	和歌山県日高郡みなべ町芝742番地
団体の目的	世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」の活用を通じて、当該地域の農林業の振興と地域の活性化を図ることを目的とする。
活動地域	和歌山県日高郡みなべ町及び和歌山県田辺市(旧田辺市)
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」の保全・活用の取組を核にこれまで未利用であった地域資源を最適な規模で循環させる持続可能な地域を目指したい。
地域の現状・課題	<p>【現状】</p> <p>2015年に国際連合食糧農業機関(FAO)から世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」として認定された。現在、当協議会が主体となり梅システムの保全と世界農業遺産を活用した地域の活性化に取り組んでいる。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> i) 農家数の減少と高齢化の進行による後継者不足 ii) 梅の消費量の減少 iii) 梅干しの製造過程から排出される梅調味残液の増加 iv) 失われつつある薪炭林の管理技術 v) 田辺市内には、世界文化遺産の登録資産があるが、その観光客を世界農業遺産認定地域に導く流れが構築できていない
地域が持つ資源	世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」・梅・備長炭・梅加工の際に出る調味残液・梅の剪定枝・間伐材等の森林資源・近隣を訪れる観光客
取組内容	<p>【実現したい事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> i) 梅産業の振興 ii) 製炭業の振興と森林管理 iii) 未活用資源の循環利用(梅加工の際に発生する調味残液などの活用) iv) 観光振興
地域循環共生圏を実践することで想定される効果	<p>(環境) 温室効果ガスの排出抑制、資源採取に伴う生態系の損失防止</p> <p>(経済) 雇用創出と地域の活性化</p> <p>(社会) 地域コミュニティの形成と、地域文化の継承や観光振興</p>